



損害保険ジャパン株式会社との スタートアップの成長支援および社会課題の解決に向けた連携協定の締結について

2025年12月24日

NOBUNAGAキャピタルビレッジ 株式会社

十六フィナンシャルグループのNOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社（代表取締役社長 峰 清孝、以下「当社」といいます。）は、損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長 石川 耕治、以下「損保ジャパン」といいます。）とスタートアップの成長支援および社会課題の解決を目的とする連携協定を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当社は、これからも、イノベーションの創出と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記



1. 連携の背景と目的

当社は、地域経済の活性化を核としたスタートアップへの投資・育成を強みとし、創業間もない企業から成長企業までの様々な段階の企業に対する経営支援や資金調達支援、ネットワーク構築支援などの多角的なサポートを提供しています。

一方、損保ジャパンは、保険の提供にとどまらず、長年にわたり培ってきたリスクマネジメントの専門知識、広範なネットワーク、そしてスタートアップの挑戦を支援する多様なソリューションを提供しています。

本協定は、両社の強みを組み合わせ、スタートアップが安心して挑戦できる環境を整備し、その成長を加速させることを主たる目的としています。

2. 連携協定の内容

- ① スタートアップの成長支援に関する事（リスクマネジメント支援など）
- ② 地域企業とスタートアップとの事業共創、事業連携によるオープンイノベーションの促進に関する事
- ③ 東海地域のスタートアップエコシステム形成・発展に関する事

3. 協定締結日

2025年12月24日（水）

4. 具体的な取組み事例

本連携の具体的な取組みの一つとして、再生医療の拡大という社会課題解決に向け、当社出資先の株式会社Quastella（代表取締役CEO 竹本 悠人）と損保ジャパンは、再生医療の安定的な提供を支えることを目的に、細胞製造事業者向けサービスの共同開発を進めています。

この共同開発は、細胞の品質と信頼性の向上を通じて、再生医療分野における新たな挑戦を後押しし、より多くの人々が品質の高い医療を受けられる社会の実現に貢献するものです。

【締結式の様子】



（左から、損保ジャパン岐阜支店 中林支店長、
Quastella 竹本社長、NOBUNAGAキャピタルビレッジ社長 峠）

以上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） TEL 058-266-2511】